

「ココロ合せ♡チカラ合せ」 防災ネットしょうなん

BOSAI Never Ending Tension~終わりにき緊張感



2025(令和7)年4月15日／第104号

自然災害に強いまちづくりをめざしましょう！

風早北部地域ふるさと協議会



防災知識を蓄えよう～シリーズその①

避難場所を知っておこう

今月から当会防犯防災部では新たな年度での活動を始動させました。本稿では地域住民の皆さんに、大規模自然災害発生時の行動が極力混乱少なく進むよう、基本的な防災知識を中心に本号及び次号でお知らせして参ります。

第1回目の今回は、在宅避難などが難しい場合の緊急シェルター、即ち公的避難場所とその収容力の課題について案内します。

* * * * *

当風早北部地域内には2種類の公的避難場所が所在します。

- ① **指定避難場所**：自然災害などが発生、または発生する恐れのある場合に一時的に避難し、身の安全を確保することができる**屋外(オープンスペース)のこと**を指し、具体的には学校の運動場・校庭や公園などです。
- ② **避難所**：自然災害などにより住居を失うなど、自宅での生活が困難となり、引き続き避難を必要とする人や帰宅困難者が、一定期間で**避難生活をする所**を指し、具体的には学校体育館などの屋内施設や近隣センターなど。

よって、**もしもの際に最初に避難する所②の「最寄りの学校体育館」ではなく、①であることを先ずはご理解ください。**なお、上記以外に、「**広域避難場所**」施設が市内に4か所（全て当地域外）があります《次頁下段参照》。

各世帯が非常時に上記①や②のどこに避難するかは、柏市ではあらかじめ設定していません。**区・町会・自治会・管理組合(その下部組織の自主防災組織や防災会を含む)**などの地域団体で**予め何処であるかを定めていることがあります**ので、その団体に照会しておきましょう。そうした**地域団体に所属していない世帯は自分達で決めておくことが必要**です。これを怠ると、大規模災害発生によって最悪命が危ぶまれますので、必ず行っておきましょう。

なお、風早北部地域内の①②の公的避難場所は次頁掲載の地図内に記載のとおりです。



ひなんばしょ
避難場所



ひなんじょ
避難所

④沼南近隣センター（※現在閉館中）・⑥県立沼南高校・⑦二松学舎大学柏キャンパス・⑧風早中学校・⑨大津ヶ丘中学校・⑩大津ヶ丘第一小学校・⑪大津ヶ丘第二小学校・⑫風早北部小学校・⑬福祉施設いこい荘・⑭大津ヶ丘中央公園・⑮風早公園
以上の①屋外校庭等避難場所と②体育館等屋内避難所（１１箇所）
④は台風大雨などの際の「自主避難所」の開設場所にもなります。



※今年１月に柏市が公表したとおり、３月末で柏市大島田４４０-１に所在の沼南近隣センター施設が全館利用閉鎖となったことに伴い、代替避難所は沼南地域内別施設スペースを利用（柏市から公表される内容が次第別途ご案内します）予定です。



これ以外に、■大井青年館、▼手賀の杜中央公園、◆塚崎運動場などを近所の一時的避難所として利用を定めている地区もあります。

柏市風早北部地区避難場所情報の公開サイトは
こちらから

★URLは

https://www.city.kashiwa.lg.jp/bosaianzen/anshinanzen/disaster/disaster_ready/hinanbasho/kazahayahokubu.html

★または、「柏市風早北部地区避難場所」で検索、

★あるいは右記QRコードを専用アプリで読み取って、アクセスしてください。

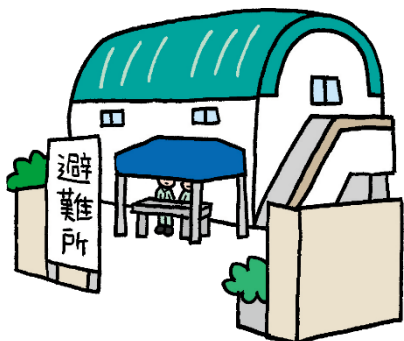


柏市内の「広域避難所」４か所：

日立総合グラウンド・県立柏の葉公園・中原ふれあい防災公園・大堀川防災レクリエーション公園

避難場所の収容力の現状は？

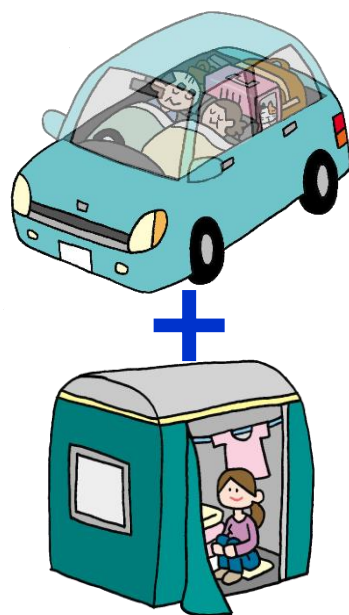
前2頁では、風早北部地域内の避難場所につき紹介しました。その避難所ですが各地域住民が大規模災害で一斉に避難した際の規模と、それを受入れる学校校庭や体育館など市の指定避難所につき、どの程度受け入れ可能(収容力がある)かを皆さんはご存知でしょうか？



当会では、柏市が提供する直近の人口(世帯数)統計記録からそれを試算し、現行の市の指定避難所の収容数との対査を行いました。その結果は次頁掲載のようになり、屋外収容施設は概ね避難住民の受け入れに対応可能ですが、**在宅避難できない住民を受入れる屋内施設は、抜本的に住民受入れの広さが一部避難施設を除いて全く足りない状況です。**特に集合住宅の多い大津ヶ丘地区は、雨風や寒さに何とか対応可能な屋内施設が根本的に不足しています。

私ども風早北部地域ふるさと協議会は6年以上も前からこの問題を何度も指摘し、柏市担当部局に避難所不足の解決につき申し入れを行っていますが、現状では抜本的解決には一切至っていません。当地域以外に同様の課題を抱えた地域が多くあり、市として対策に窮している実情も漏れ伝わっています。

この問題を何とか解消に導くため、私どもでは「**マイカー&マ イテント避難**」の実現を強く要望し、今後は当地域内であれば、塚崎運動場、手賀の杜中央公園など比較的敷地面積が広い公共屋外施設を防災対策にも配慮した避難所として整備したり、休閑地やあぜ道などの拡張・整備工事、更には、市内各地の自然緑地公園の一層の整備事業を通じ、災害時のマイカーとマイテントが可能な住民避難スペースに最大限活用できるよう求めて参ります。なお、こうした場所に欠かせない、トイレや飲料水供給施設の整備を併せて求めて参ります。



マイカー&マイテント避難の補足説明

Q：何故マイカー&マイテント避難なのですか？

(回答) マイカー避難の最大の課題は、狭い空間に長時間滞在する環境下では、血管に血栓(血のかたまり)が生じる可能性が高くなり、血流が悪くなる=体調不良、最悪は死の恐れがでてきます(エコノミークラス症候群)。これを少しでも解消するための生活スペース確保のため、車に併設可能なテントの準備を推奨しています。

Q：マイカー&マイテント避難のメリットはどこですか？

(回答) 次頁掲載の通り、当地域の市指定屋内避難所では、多くの避難住民を受け入れる収容力が二松学舎大学柏キャンパス以外はありません。最悪、ほとんどの住民が屋外の青空避難を強いられることになります。この問題解決を当会は7~8年前から柏市に訴えておりますが、市は抜本的な対策を見出していません。私たちは、その解消策として住民避難の選択肢にこのマイカー&マイテント避難の積極的な導入を掲げ、市行政には、車両での避難が出来る場所の確保、新たな適地整備を要求しています。

これ以外のメリットとしては、感染症拡大回避の対策やペット同伴避難問題の解消も大いに期待できます。

Q：市はどうしてこのマイカー&マイテント避難に必ずしも前向きではないのですか？

(回答) 上記のエコノミークラス症候群の発生や、市内各所で交通渋滞を増長し、緊急優先車両通行の妨げになり得ることを危惧しています。

現状での風早北部地域内の市指定避難場所・避難所の避難者収容力と試算の避難者数※

※令和6年5月上旬に風早北部地域ふるさと協議会防災防災部が独自の試算方法で作成

市指定避難所	屋外収容数	屋内収容数	想定避難者数
沼南高校	11,389	433	1,228 足りない！
二松学舎大	9,698	838	121
風早中学校	5,595	273	988 足りない！
大津ヶ丘中	8,247	259	1,583 足りない！
大津第一小	5,366	120	2,821 足りない！
大津第二小	5,557	120	1,228 足りない！
風早北部小	2,569	105	613 足りない！
沼南 近隣センター	大島田所在の建物は閉館中（代替施設は沼南地域内公的場所を予定）		
大津ヶ丘中央公園	16,500	—	☆
風早公園	7,160	—	☆
いこい荘	—	130	☆

【※注意】

屋外収容数、屋内収容数は柏市が各施設の避難者収容可能床面積を基に、屋内は一人4㎡、屋外は一人2㎡として机上で算出したものです。数値は昨年春先時点のものです。

想定避難者数は、柏市の人口及び世帯数統計(令和6年3月末時点)を基に当会が独自に集計したもので、震度6弱の地震の際に一戸建てで全体の2割、集合住宅で全戸住民が避難することを基本に算出しています。当地域外住民や帰宅困難者の受入れ数などは一切加味されていません。各避難所にどれくらいの住民が避難してくるかの大方の目安の数値として取り扱い願います。

注) 表中の「☆」印は、これまで当地域住民参加による避難移動訓練を実施していない施設や場所であるため、今回は想定される避難者数の試算対象にしていないことを申し添えます。

★大規模震災時「大ホール」は避難施設とならないため、収容人数はこれより相当数少なくなります。

